

令和2年度 幕別町議会報告会 ～オンライン対応～ ご質問・ご意見に対する回答

No.	ご質問・ご意見及び回答	議会 委員会	役場 担当課
1	<p>Q ①新型コロナのPCR検査に対する補助を考えていますか。 ②高齢者が高熱など症状がなくても検査を希望する場合、検査を斡旋して費用を補助する体制はできないか。</p> <p>A ①②十勝管内では士幌、上士幌、鹿追、新得、足寄などで住民の方などに対するPCR検査費用の助成が行われています。2万～2万5千円ほどの検査料金に対して、その8割相当額を助成する場合がありますが、検査できる数のごく限られていること(上士幌町:5人/日を週2日実施して一週間に10人)、現状の検査体制では検査数の急増によって行政検査(公費負担のPCR検査)に影響を与えるなどの懸念があります。 町では、かかりつけ医など医師の判断に基づく行政検査が基本であると考えておりますので、自費でPCR検査を行った方への費用助成は、現段階では予定していないとお聞きしています。 今後も国などの動向を注視しつつ、検査体制の充実や医療体制の確保、必要な財政措置や支援策の充実について、町を通して国に求めてまいります。</p>	民生常任 委員会	保健課
2	<p>Q ①コミュニティ・スクールにおける地域コーディネーターの配置及びマイスターの派遣要請の進捗状況と展望は。 ②スポーツ、教育水準の高い幕別町の更なる教育環境の充実に向けて教育長の民間登用は如何でしょう。</p> <p>A ①教育委員会では、小中一貫教育にあわせて、平成31年4月から中学校区ごとに法に基づく学校運営協議会(コミュニティ・スクール(CS))を設置しました。 「地域コーディネーター」は学校と地域の実情に精通し、学校やCS、地域住民と連携しながらボランティア活動などの連絡調整を担い、学校と地域をつなぐパイプ役とされています。 また、CSマイスターは、文部科学省が委嘱したCS導入の実践経験を有する元校長や教育長、学校運営協議会会長などで、CS及び地域学校協働活動の推進のため、各地の先進的な事例や関係法令などを踏まえた説明等を必要とする地域に対して文部科学省から派遣される制度です。 本町において「地域コーディネーター」の配置や「CSマイスター」の派遣は行われておりませんが、町内5つの各CSにおいて検討が行われ、配置や派遣を必要とする場合は、教育委員会として必要な支援が行われるよう申し入れてまいります。</p> <p>②教育長は、人格が高潔で教育行政に関して識見を有するものの中から「町長」が議会の同意を得て「任命」します。教育行政に識見を有するものとは、教育委員会事務局職員や教職員経験者に限らず、行政法規や組織マネジメントに識見があるなど、教育行政を執行するために必要な資質を備えていれば幅広く該当するものとされています。 また、教育長の任期は3年で、町長や議会議員の任期4年よりも1年短くなっています。これにより町長、議会議員の任期中少なくとも1回は教育長の任命が行われます。 教育長の任命権は町長にあることから、議会としては、町長から提案のあった教育長の人事案について、その重要な職責に鑑みて、資質及び能力などをチェックしてまいります。</p>	総務文教 常任 委員会	学校 教育課